VISIT…

2003年度　1級　読解・文法（一部抜粋）

問題Ⅰ　　長文読解は省略

問題Ⅱ　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　手紙というのが、どうも苦手である①。手紙を書く必要に迫られたりすると、とつぜんクシャミがとまらなくなったり、おなかをこわしたりする。

もともと、文章を書くのがいやだ、ということもある。が、それ以上に手紙を書くのがいやなのは、あの形式のせいである。

まず、「拝啓」というのが気に入らない。拝啓というのは「つつしんで申し上げる」というイミらしいが、いまどきそんなことを知っている人は、あまりいない。イミもわからずに、なぜ「拝啓」なんて書かなければいけないのか、ぼくにはまったく理解できないのだ。

（中略）

ま、いちがいに「形式」がいけないとは言わない。もともと形式というのは、みんなの便利さのためにあるものだ。形式があるからこそ、ぼくたちは余分なことに余計に神経を使わずにすむ②。もし、手紙の形式というものがなかったら、ぼくたちは手紙を書くたびに、「どう書き出せばいいだろうか」とか、「こう書いたら失礼にならないだろうか」とか、あれこれこまかいことに気をつかって、書かないうちからクタクタ(注1)になってしまうかも知れない。

が、そういう形式の効用(こうよう)(注2)は十分認めたうえで、なおいまの手紙の形式は死んでいる、とぼくは思う。で、それがぼくたちの首やからだに巻きつき、ぼくたちの手紙を窒息状態に追いこんでいると思う。形式をちゃんとこなせばこなすほど(注3)、手紙からどんどん生気(せいき)(注4)が失われていくのだ。

（天野祐吉『バカだなア』筑摩書房による）

(注1) クタクタになる：とても疲れる

(注2) 効用(こうよう)：役に立つこと

(注3) ちゃんとこなす：うまく使う

(注4) 生気(せいき)：生き生きした力

問1　①「手紙というのが、どうも苦手である」とあるが、その一番の理由は何か。 8

1　文章を書くのが好きではないから

2　手紙の形式が好きになれないから

3　手紙をどう書き出せばいいかわからないから

4　手紙を書こうとすると体の具合が悪くなるから

問題III　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを１・２・３・４から一つ選びなさい。

(1)　人に会うときの心構えは、どんな場合でも同じだが、初対面のときは特に細かいところまで気を配る必要がある。

第一印象は決定的だ。最初の出会いのときに、どんな人であるか、だいたいの判断をされてしまい、それは固定観念となってしまう。そのあとで、少しぐらい異なった発言をしたり、新しい行動様式が見られたとしても、第一印象の内容のそれぞれに無理や(注１)り当てはめられてしまう。

すなわち、第一印象によって形成された先入観(注２)ないしは偏見という「色眼鏡」ですべてが見られてしまうのだ。その色眼鏡を外させたり、異なった色のものに変えさせたりするのは、至難(注３)の業である。したがって、自分をもっともよく見せる色眼鏡を、相手に最初からかけてもらうように努める必要がある。

（山崎武也『20代からの気のきいた「マナー」がわかる本』三笠書房による）

（注１）無理やり：無理に

（注２）先入観：初めに知ったことによって作られた観念や見解

（注３）至難の業：とても難しいこと

【問い】　「その色眼鏡を外させたり、異なった色のものに変えさせたりする」とあるが、これはどういう意味か。 **18**

1　他人に気を配りすぎている人に、自分の本当の気持ちを表させること

2　自分とは異なる発話や行動をする人を、自分と同じ考え方に変えさせること

3　最初の印象によってできたその人についての判断を、後から変えさせること

4　出会いの時、印象をよくしようとして飾っている人の本当の姿を出させること

問題IV　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

23 連休中、海や山は言うに＿＿＿、公園や博物館まで親子連れであふれていた。

1　および　　2　およんで　　3　およばず　　4　およばなくて

問題V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

43 子どもたちが学校へ通う道なのに、信号がないのは危険＿＿＿。

1　しだいだ　　2　にたえない　　3　かぎりない　　4　きわまりない

問題VI　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

53 国の経済は、鉄道やトラックなどによる貨物の輸送に依存している。国全体に広がる交通網＿＿＿、1日たりとも成り立たない。

1　以上に　　2　にそって　　3　をよそに　　4　なくしては